



9月25日
東地申5号

2020年度ダイヤ改正検証についての申し入れ

【上野運転区】団体交渉を行う！

1. 小山車両センター泊・平平12行路・平休12行路の睡眠時間が4時間強しかなく、明けの業務時間が長時間となっている。安全確保のためにも、明けの業務時間を短くすること。

(回答)列車ダイヤの設定や効率的な運用を勘案し、行路を作成している。

(組合)睡眠時間を拡大することはできないのか？

(会社)他区所との移動を検討したが、他区所のバランスを考えると困難である。

(組合)入区電車の変更ができないのか

(会社)入出区に関しては入区した順に出区していく考えである。

また行先地の時間を確保する考えは変わらない

2. 休82行路、籠原駅1862E入区、回972M出区が同一編成担当のため、自動防止の扱いとすること。

(回答)現時点で取り扱いを変更する計画はないと聞いている。

(組合)何故、自動防止の対応ができないのか

(会社)高崎支社と籠原駅との設定と聞いている。また、グループ会社の自動防止の取扱いがないと聞いている。貴側からの主張を受け止め、支社としても高崎支社に伝えていく

3. 田町車両センター泊時、高輪ゲートウェイ駅の発車メロディーが寝室に聞こえるので、睡眠の障害となっている。夜間帯の音量を下げ、かつ防音効果を高めること。

(回答)引き続き状況を把握していくとともに、必要に応じて対応していく考えである。

(会社)高輪ゲートウェイ駅のコンコース階の自動音声設定を変えることができる。

夜間モードで音量を下げている

4. 平日10行路540M、尾久駅1分停車は早発を誘発する恐れがある。早発防止の観点から30秒停車にすること。

(回答)引き続き状況を把握していくとともに、関係支社と調整していく。

(会社)この停車時分は変更可能である。大宮支社と引き続き検討していく

5. 休日11行路1629E、自治医大駅45秒停車は早発を誘発する恐れがある。早発防止の観点から30秒停車にすること。

(回答)引き続き状況を把握していくとともに、関係支社と調整していく。

(会社)この停車時分は変更可能である。大宮支社と引き続き検討していく

6. 馬橋～松戸第1閉そく信号機の喚呼時、減速現示となっている。喚呼時に進行現示が望ましいため改善すること。

(回答)引き続き状況を把握していくとともに、関係支社と調整していく。

(会社)現在、制御点の変更など調整を図っている。貴側と同じ認識は持っている

7. 10行路明け525Mと先行823Mとの間隔が短く、先行閉そくに当たる。先行との間隔を1分程度開けること。

(回答)引き続き状況を把握していくとともに、関係支社と調整していく。